西宮自然保護協会 / Nishinomiya Nature Conservation Organization

協会だより

第２号　2016年８月発行
西宮自然保護協会
mail：sxmm27582@iris.eonet.ne.jp
HP：http://nisinomiyasizen.jimdo.com/

お変わりなくお過ごしでしょうか。第２号をお届けします。夏から秋の行事を中心に掲載していますのでご覧になってぜひ参加してください。

8～11 月行事の見どころ

サルトリイバラの実

●8 月 20 日（土）　JR 道場駅からあまり知られていない湿原と千苅ダムを訪ねて

JR 道場駅から東の羽束川を渡り、山中へ進むこと約２時間、殆ど人に知られていない湿原に案内します。６月の終りには、ノハナショウブやカキランの花が咲き、ハッチョウトンボがたくさん飛んでいました。全国的に湿原が消滅する中で、このような湿原が残っていたのは感動です。この貴重な湿原に行きましょう。雨の後などは長靴か濡れても良い靴でご参加ください。急な坂はありません。トイレは道場駅と千苅ダムにありますが、途中にはありません。

帰路、もし時間があれば「美しい日本のダム百選」・「スライドゲート式日本最古で近代土木遺産」に選ばれた、一度は見ておきたい千苅ダムの見学をします。大正３年から５年間かけて作られ、さらに昭和に入りかさ上げされました。17 本の水門がある美しいダムです。放流されていたらいいですね。

カキラン

サギソウ

●9 月 24 日(土)　蛇谷～土樋割～東おたふく山を歩く

芦有ドライブウェイの東おたふく山登山口から蛇谷に沿った道を、植物を観察しながら土樋割をめざします。この道は日陰が多く、道も舗装されているので歩きやすく、約 1.5km を２時間かけてゆっくり歩きます。土樋割付近の川原で昼食をとり、東おたふく山の頂上をめざします。途中はササ原ですが、その根元にも植物が…。頂上付近から東南はササ原になっていますが、もとのススキの原に戻そうという活動もされているようです。頂上からの下りは木陰も多く、比較的涼しいのですが、少し急な所もありますので注意が必要です。

東おたふく山山頂

９月の観察会の頃には、ヒヨドリバナやキクバヤマボクチ・ヤマジノホトトギス・テイショウソウ・イヌコウジュ・コメナモミ・オトコエシ・ヤクシソウ・ヨシノアザミ・シラヤマギク・アキノタムラソウなどが咲いているかも…。

ヤマジノホトトギス

ヤクシソウ

●10 月 23 日(日)　自然と触れ合う神鍋高原方面バスツアー

当初の予定が９月実施でしたが、10 月に変更しました。季節としてはよい頃と思います。

神鍋のお釜

和池の大かつら

神鍋のお釜まで遊歩道を植物観察しながら歩きます。昼食はお釜を眺めながらいただきます。枯れススキなど秋の草花が風になびいているのが見られるでしょう。その後安藤忠雄氏が設計した「木の殿堂」へ。木材あふれる素敵な、変わった建物です。おもちゃ作りなどの工作もしているようです。

たじま高原植物園入口

一通り見た後は「たじま高原植物園」へ。ここでは県の天然記念物『和池（わいけ）の大かつら』があり水が豊富です。園の方に１時間ほど案内していただきます。その後帰路に着きますが、いつもながらこちらの道は帰りが込み合い遅くなります。混雑を避けゆっくり観察して少し遅めに出発しようと考えています。ご了承ください。

●11 月 27 日(日)　JR 福知山線廃線敷(武庫川渓谷)観察会

廃線敷の整備工事が終わる11月17日にハイキング道がオープンされます。トイレなどが整備されトンネル内などがとても歩きやすくなる予定です。コースの様子は「西宮の自然を歩く」の 11 コースに掲載されています。晩秋ですので木々の紅葉、黄葉が目を楽しませてくれるでしょう。

ツメレンゲ

花

武田尾まで、トンネルを６つ通ります。まず１つ目のトンネルの手前には高座岩が右手にみえます。渓谷で一番大きな岩で、６月には岩に自生するサツキの花を見ることができます。次に２番目のトンネルに入る前の右前方の崖を見ると川に向かって流れ落ちる約１０mの滝がみられます。４つ目のトンネルを出た右の崖にはめずらしいツメレンゲがあり、ちょうど花期ですので花穂に白い小さな花が見られます。さらに進むと右手に「桜の園」があり、春はヤマザクラの花が見事で、秋は紅葉も一興。

最後のトンネルを越えしばらく歩くと、旧武田尾駅があった場所を通り武田尾駅に着く約７kmのコースです。

桜の園の紅葉

イシガケチョウ　　小田孝義(会員)

さざなみ No.35 の「2015 年西宮市で確認された蝶の記録」の④ に“イシガケチョウが本市に定着した可能性が高くなった”と述べられています。

2015 年5月 25 日　甲山森林公園　花時計の上を滑空しているのを確認しました。さらに 2016 年5月 13 日　同公園のシンボルゾーン東の休憩場の遊歩道脇、枯葉の上に止まっているのを撮影し、後に採集し放蝶しました。周りでは食樹のクワ科のイヌビワ・イチジクは発見できませんでした。

注：イヌビワは甲山周辺には多い（編集者補足）